



ウィークリー赤れんが 2011
第148回 「広げよう！続けよう！支援の輪」

■放送

主音声コメント	映像	副音声コメント
<p>レポーター：震災で北海道へ避難されている方へ、いま、雇用や情報提供、避難された方との交流など支援の輪が広がっています。ウィークリー赤れんが。今回は、支援活動について、お伝えします。</p>		<p>レポーター：震災で北海道へ避難されている方へ、いま、雇用や情報提供、避難された方との交流など支援の輪が広がっています。ウィークリー赤れんが。今回は、支援活動について、お伝えします。</p>
<p>レポーター：北海道にも大きな被害を与えた「東日本大震災」から半年がたち、岩手、宮城、福島などから、あわせて3,159名の方が、道内各地に避難しています。こうした方々のために、いま道や市町村をはじめ、企業、ボランティアなど、さまざまな支援の輪が広がっています。</p>		<p>レポーター：北海道にも大きな被害を与えた「東日本大震災」から半年がたち、岩手、宮城、福島などから、あわせて3,159名の方が、道内各地に避難しています。こうした方々のために、いま道や市町村をはじめ、企業、ボランティアなど、さまざまな支援の輪が広がっています。</p>
<p>レポーター：ここは、伊達市のイチゴ農場です。松井さん、伊達市では宮城県亶理町で被災にあった方に移住してもらい、臨時職員としてお迎えしたそうです。</p>		<p>レポーター：ここは、伊達市のイチゴ農場です。伊達市農務課の松井さん、松井さん、伊達市では宮城県亶理町で被災にあった方に移住してもらい、臨時職員としてお迎えしたそうです。</p>
<p>伊達市松井さん：はい、もともと伊達市と亶理町は、姉妹都市なんです。亶理町のみなさんのために、何かできないかと考えイチゴの栽培をお願いすることにしました。</p>		<p>松井さん：はい、もともと伊達市と亶理町は、姉妹都市なんです。亶理町のみなさんのために、何かできないかと考えイチゴの栽培をお願いすることにしました。</p>
<p>臨時職員の佐藤さん：おいしいイチゴをつくって、みんなに食べさせてあげたい。というのが、私の希望なのでがんばりますので、よろしくをお願いします。</p>		<p>レポーター：臨時職員の佐藤さんのお話です。佐藤さん：おいしいイチゴをつくって、みんなに食べさせてあげたい。というのが、私の希望なのでがんばりますので、よろしくをお願いします。</p>
<p>レポーター：また、「道立市民活動促進センター」では、生活支援情報などを提供する相談窓口を設け、避難された方が、「支援コーディネーター」になり、窓口を担当しています。</p>		<p>レポーター：また、「道立市民活動促進センター」では、生活支援情報などを提供する相談窓口を設け、避難された方が、「支援コーディネーター」になり、窓口を担当しています。</p>
<p>三角山放送局田島さん：『では、被災地の情報をお届けします。』</p>		<p>『では、被災地の情報をお届けします。』</p>
<p>レポーター：札幌のコミュニティFMでは、3局が連携して、避難された方が、北海道で元気に暮らしていただけるよう、支援情報を放送しています。</p>		<p>レポーター：札幌のコミュニティFMでは、3局が連携して、避難された方が、北海道で元気に暮らしていただけるよう、支援情報を放送しています。</p>
<p>三角山放送局田島さん：避難された方や、被災地の支援を行った道職員などへのインタビューをはじめ、避難された方への生活情報や被災地の情報などを届けています。これからも必要な情報を伝えていきたいと思っています。</p>		<p>レポーター：三角山放送局の田島さんのお話です。田島さん：避難された方や、被災地の支援を行った道職員などへのインタビューをはじめ、避難された方への生活情報や被災地の情報などを届けています。これからも必要な情報を伝えていきたいと思っています。</p>
<p>レポーター：また、大学生のボランティア「みちのくkid's」は避難した子どもたちとのふれあい活動を、東北から避難した方々で発足した「みちのく会」ではホームページでの情報提供や、毎週「交流会」も開いています。</p>		<p>レポーター：また、大学生のボランティア「みちのくkid's」は避難した子どもたちとのふれあい活動を、東北から避難した方々で発足した「みちのく会」ではホームページでの情報提供や、毎週「交流会」も開いています。</p>
<p>みちのく会本間さん：「みちのく会」を通して、励ましあっている仲間がたくさん増えたことが良かったと思います。</p>		<p>レポーター：みちのく会の本間さんのお話です。</p>
<p>レポーター：齋藤さん、いろいろな支援の輪が広がっていますね。</p>		<p>本間さん：「みちのく会」を通して、励ましあっている仲間がたくさん増えたことが良かったと思います。</p>
<p>道庁齋藤さん：はい。道でも、被災地へこれまで約3,700名の職員を派遣してきましたが今後も、続けていくことになっています。また、道内に避難された方の生活を支援するための「家電家具マッチングサイト」も開設しています。これは、道民のみなさんに無償提供できる物を登録していただき、避難されている方へ提供する助けあいサイトです。たくさんの方に利用してほしいですね。</p>		<p>レポーター：道庁の齋藤さん、いろいろな支援の輪が広がっていますね。齋藤さん：はい。道でも、被災地へこれまで約3,700名の職員を派遣してきましたが今後も、続けていくことになっています。また、道内に避難された方の生活を支援するための「家電家具マッチングサイト」も開設しています。これは、道民のみなさんに無償提供できる物を登録していただき、避難されている方へ提供する助けあいサイトです。たくさんの方に利用してほしいですね。</p>
<p>レポーター：マッチングサイトにこんなメールが寄せられていました。「ゼロからのスタートで、不安が多かった中お力を貸して頂き、大変助かりました。」避難されている方々のために大切なことは、支援の輪を、広げること。続けていくこと。支援活動へ、みなさんのご協力をお願いいたします。</p>		<p>レポーター：マッチングサイトにこんなメールが寄せられていました。「ゼロからのスタートで、不安が多かった中お力を貸して頂き、大変助かりました。」避難されている方々のために大切なことは、支援の輪を、広げること。続けていくこと。支援活動へ、みなさんのご協力をお願いいたします。</p>